

荒川区景況速報（令和3年10月～12月）

あら坊の景気ウォッチング！



全業種の動向

1 今期（10～12月）・次期（1～3月）の業況判断

※D Iとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合
荒川区の今期は▲39.6（前回調査時▲54.6）と大きく改善した。次期は▲40.3とほぼ横ばいと予想されている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国・東京都ともに大きく改善の予想となっている。

2 今期（10～12月）の売上（7～9月と比較した状況）

「増加した」が20.1%、「あまり変わらない」が42.2%、「減少した」が37.7%、「無効回答」が0.0%となっている。

新型コロナウイルス感染症による経営・事業活動への影響について

3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営や事業活動へ影響を与えましたか。

「大いにマイナスの影響があった」が22.7%、「マイナスの影響があった」が43.5%、「変わらない」が26.6%、「プラスの影響があった」が5.2%、「大いにプラスの影響があった」が1.9%、「無効回答」が0.0%となっている。

「脱炭素化」の取り組みについて

4 温室効果ガス（二酸化炭素）の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または、「今後実施を予定しているもの」を教えてください。（複数選択可）

回答の多かった上位5つは、「省エネ照明の導入（LED等）」が33.9%、「省エネ型のエアコンや業務機械の導入」が14.7%、「廃棄物の抑制や再使用の推進」が13.6%、「特に実施していない（実施予定もない）」が13.3%、「電気自動車やハイブリッド車の導入」が10.8%となっている。

* 調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和3年12月10日に発送し、154事業所から回答（回収率77.0%）がありました。また、集計値は四捨五入で表記しています。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当 山本・松村
電話：03（3802）3111 内線：446・476

1 今期（10～12月）・次期（1～3月）の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲39.6（前回調査▲54.6）と大きく改善し、次期は▲40.3 とほぼ横ばいの予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国・東京都ともに大きく改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7～9月	▲54.6	10～12月	▲39.6	1～3月	▲40.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7～9月	▲28.4	10～12月	▲23.3	1～3月	▲11.5	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	▲45.0	11月	▲36.0	12～2月	▲21.0	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲18.4（前回調査▲51.2）と大きく改善し、次期は▲15.8 とやや改善の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では大きく改善、東京都ではやや改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7～9月	▲51.2	10～12月	▲18.4	1～3月	▲15.8	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7～9月	▲17.5	10～12月	▲19.7	1～3月	▲7.2	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	▲43.0	11月	▲26.0	12～2月	▲23.0	

(3) 卸売業

荒川区の今期は▲42.9（前回調査▲50.0）と改善したが、次期は▲47.6 と悪化の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国・東京都ともに大きく改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7～9月	▲50.0	10～12月	▲42.9	1～3月	▲47.6	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7～9月	▲24.3	10～12月	▲21.9	1～3月	▲7.5	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	▲35.0	11月	▲40.0	12～2月	▲20.0	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲42.1（前回調査▲64.3）と大きく改善したが、次期は▲42.1 と横ばいの予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国・東京都ともに大きく改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7～9月	▲64.3	10～12月	▲42.1	1～3月	▲42.1	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7～9月	▲40.8	10～12月	▲32.9	1～3月	▲18.5	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	▲68.0	11月	▲54.0	12～2月	▲33.0	

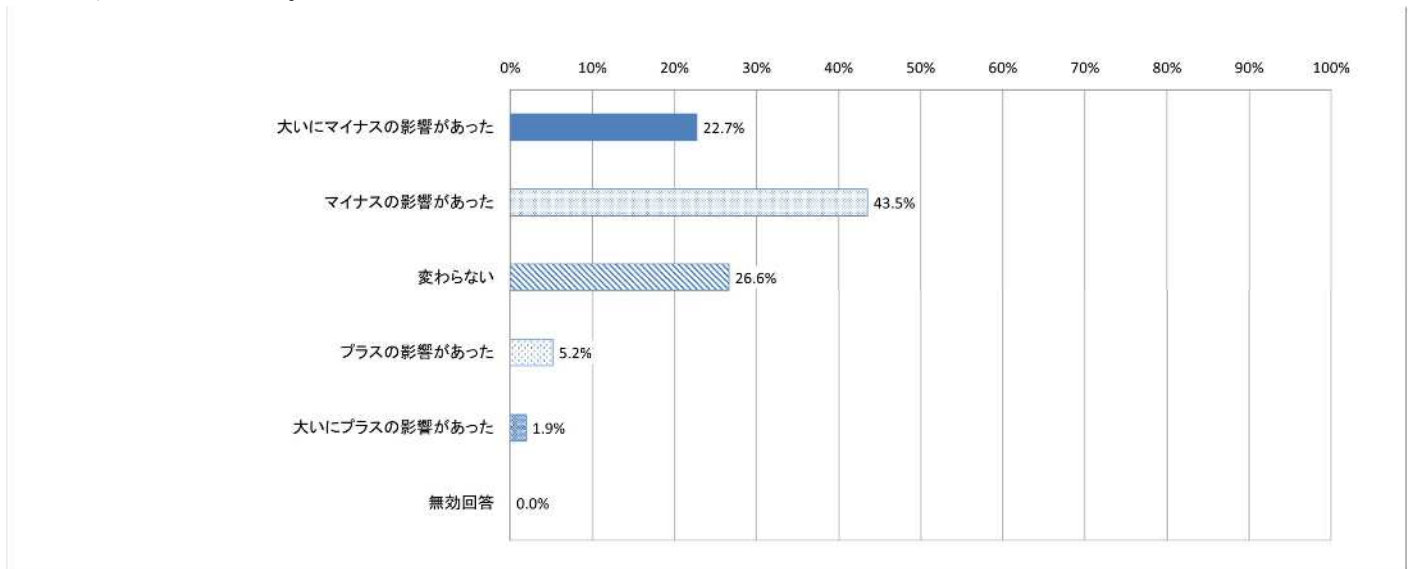
2 今期（10～12月）の売上（7～9月と比較した状況）

「増加した」が20.1%、「あまり変わらない」が42.2%、「減少した」が37.7%となっている。
 （前回調査 「増加した」：12.6%、「あまり変わらない」：29.9%、「減少した」：56.9%）
 業種別では「増加した」が、製造業では28.9%、卸売業では16.7%、小売業では18.4%となっている。

3 新型コロナウイルスによる経営や事業活動への影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営や事業活動へ影響を与えましたか
 （番号一つに○）

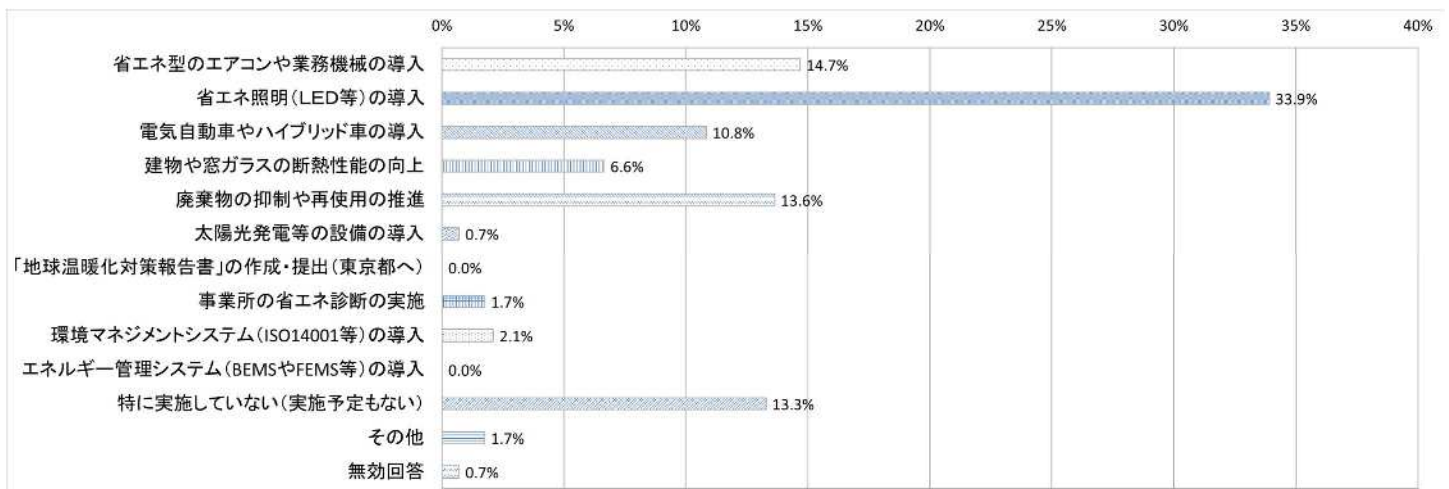
「大いにマイナスの影響があった」が22.7%、「マイナスの影響があった」が43.5%、「変わらない」が26.6%、「プラスの影響があった」が5.2%、「大いにプラスの影響があった」が1.9%、「無効回答」が0.0%となっている。



「脱炭素化」の取り組みについて

温室効果ガス（二酸化炭素）の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または、「今後実施を予定しているもの」を教えてください。（複数選択可）

回答の多かった上位5つは、「省エネ照明（LED等）の導入」が33.9%、「省エネ型のエアコンや業務機械の導入」が14.7%、「廃棄物の抑制や再使用の推進」が13.6%、「特に実施していない（実施予定もない）」が13.3%、「電気自動車やハイブリッド車の導入」が10.8%となっている。

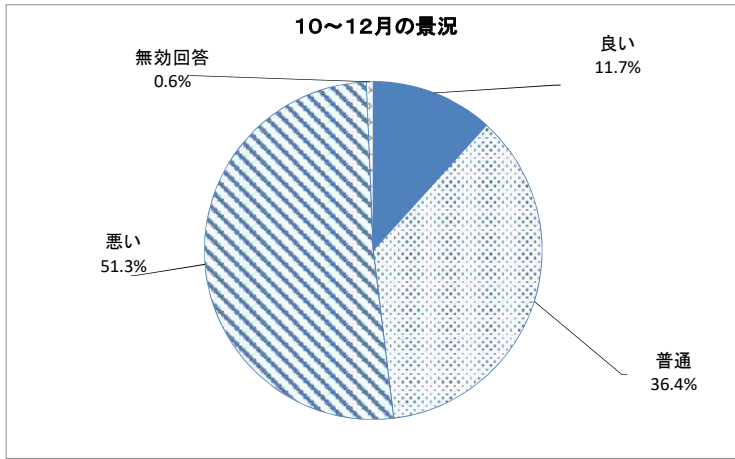


4 主な自由意見等

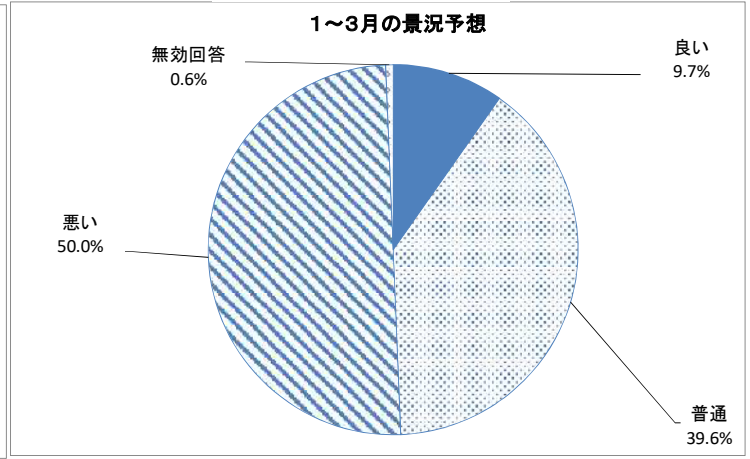
業種	内 容
製造業	前期までの業績がひどかったため、それに比べれば売上は増加したもののコロナ前より状況は良くならない。平均所得が上がっていない状況では、ぜいたく品の購入は控えられるため貴金属業界は一部を除いて厳しさが続くと思う。
製造業	会社として、電力消費のデマンドコントロールシステムを取り付けている。消費電力が一定数値を超えるとメールが入るので、エアコンや電灯をいちど消して、年間の使用量や料金をおさえている。
卸売業	いずれは使用車両の電動化は避けられないが、中小企業にとっては費用負担が大きい。
卸売業	脱炭素への取り組みは、人手や資金が必要になることが多いので、小規模の会社には大変だと思う。
卸売業	コロナよりも原油高や中国の電力不足等による影響を強く受けた。原材料の入荷が大幅に遅れ、受注は多くても製品が仕上がらず売上がたたないことが多々あった。バイオマスインクを使用した印刷が一部始まったが、価格の面でも環境への取り組みを推進するにはまだまだ時間がかかると思われる。
小売業	コロナも多少落ち着いたように見えるが、客足はまだまだ鈍い。福引き売り出しを実施しているが時代の流れとともに景品内容の検討も必要かと思われる。
小売業	いちど引いたお客様の波は、戻るのに時間がかかる。何か新しい取り組みに挑まなければと思う。
サービス業	脱炭素化やSDGsの取り組みについては、企業ができることと個人(含む個人事業主)ができることを分けていただけるとありがたい。
サービス業	少しずつ上昇の兆しがあるが、今後元通りには戻りそうにない。客層が少しずつ変わってきている。長い時間営業をやっても早く帰られる方が多い。
サービス業	化石燃料の使用は控え、今後はバイオの力で開発するべきだと思う。
建設業	脱炭素化に取り組みたいと勉強中だが、経費がかかることが多い。利益率低下により費用の工面が難しい。
建設業	新型コロナの影響は、思いのほか厳しく大幅に売り上げが減少した。国や都の支援金はありがたいが書類作成が大変でかなり時間をとられる。今後は、アイデアをだして新分野にも積極的に取り組みたい。

令和3年10月～12月 あら坊の景気ウオッチング [全業種]

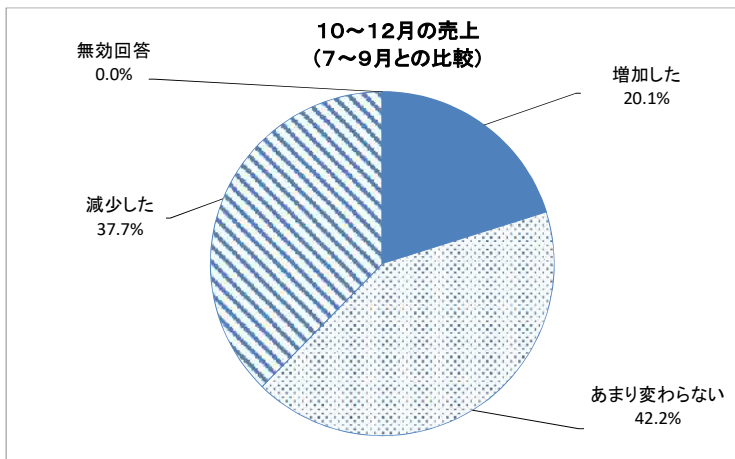
有効回答154事業所



DI ▲ 39.6 = 11.7(良い) - 51.3(悪い)

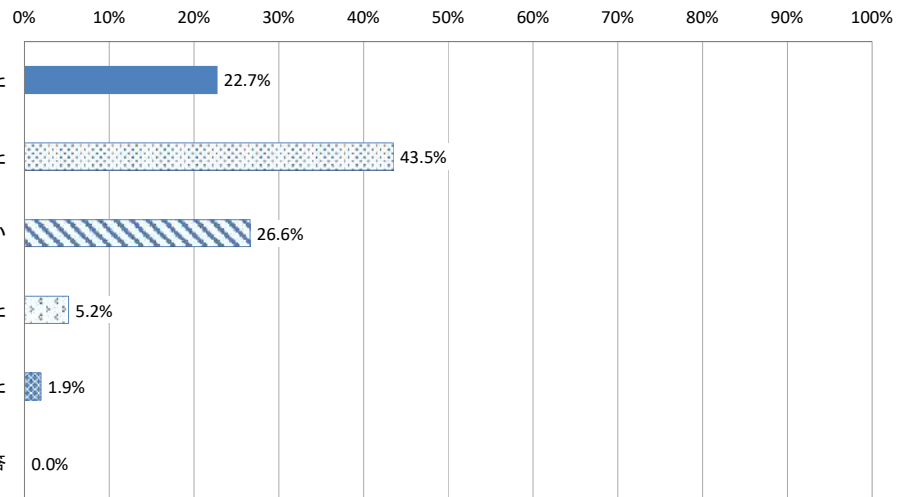


DI ▲ 40.3 = 9.7(良い) - 50(悪い)



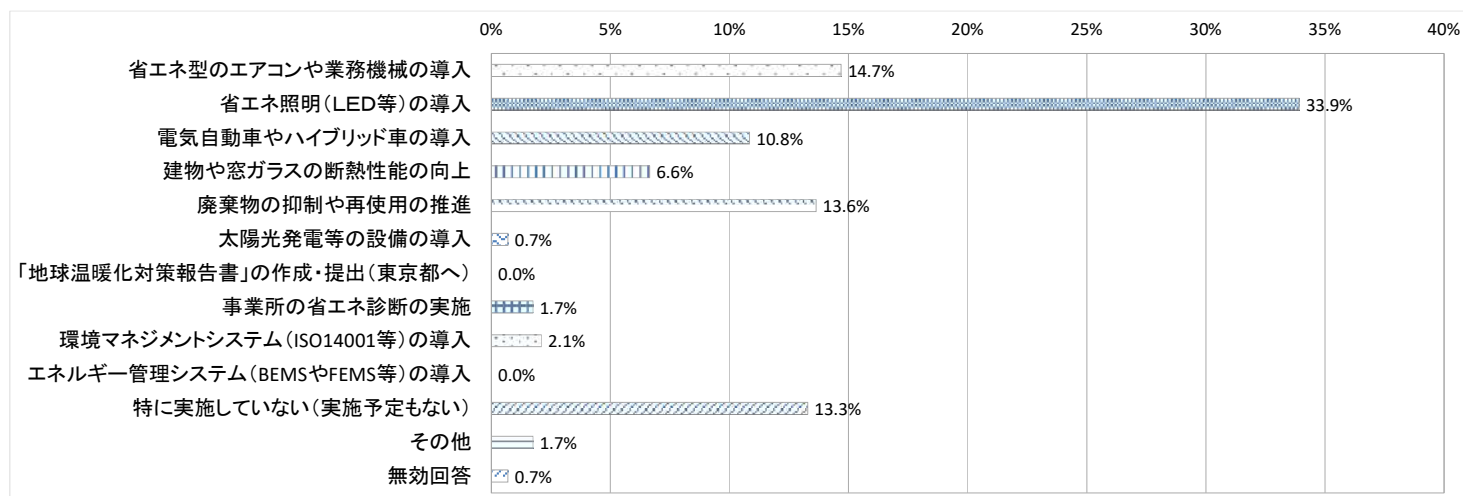
新型コロナウイルス感染症による経営・事業活動への影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営・事業活動へ影響を与えましたか(番号一つに○)

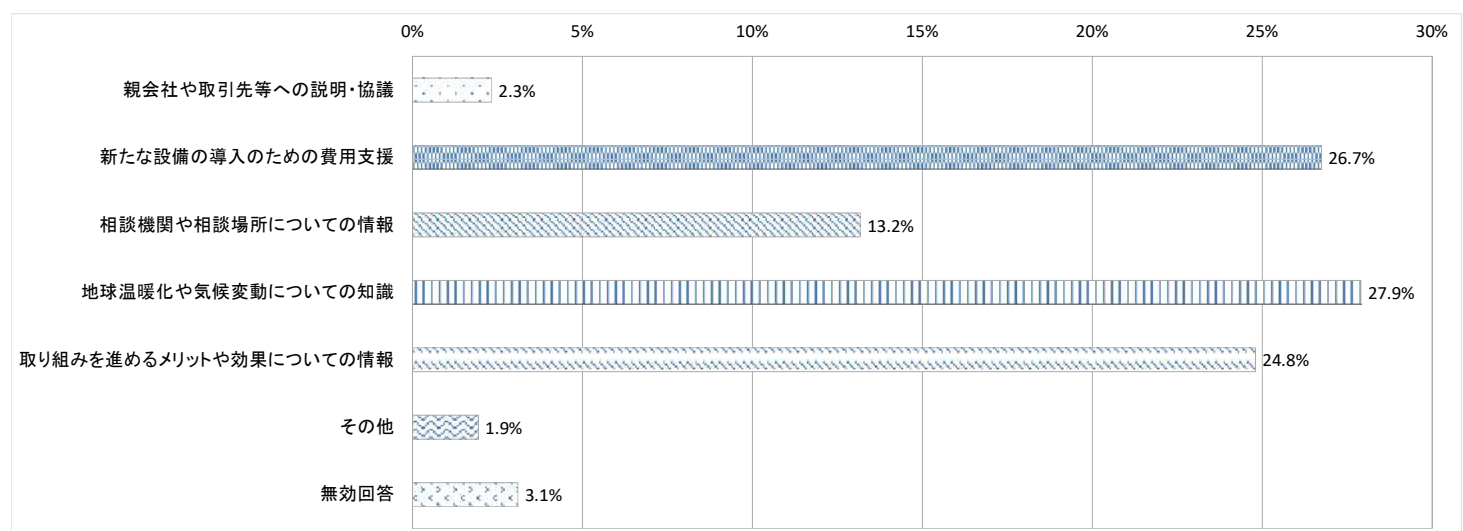


「脱炭素化」の取り組みについて

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または「今後、実施を予定しているもの」を教えてください。(番号に○、複数選択可)

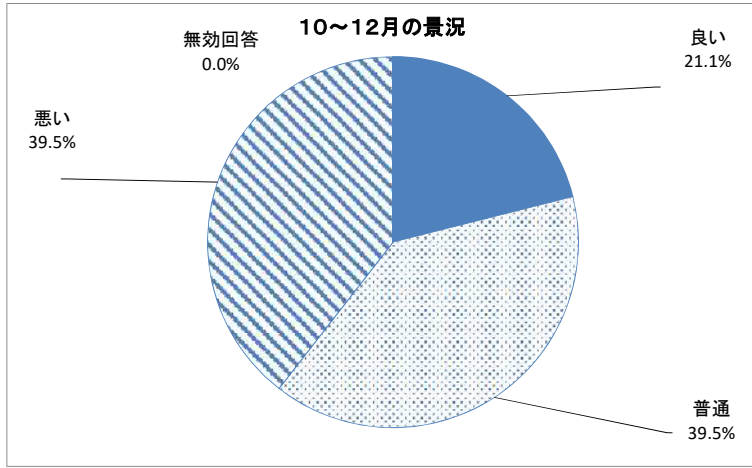


脱炭素化の取り組みを「今は取り組んでいないが、今後実施するため」、または「今の取り組みを更に進めるため」には、どのようなことが必要か、貴社に当てはまるものを教えてください。(番号に○、複数選択可)

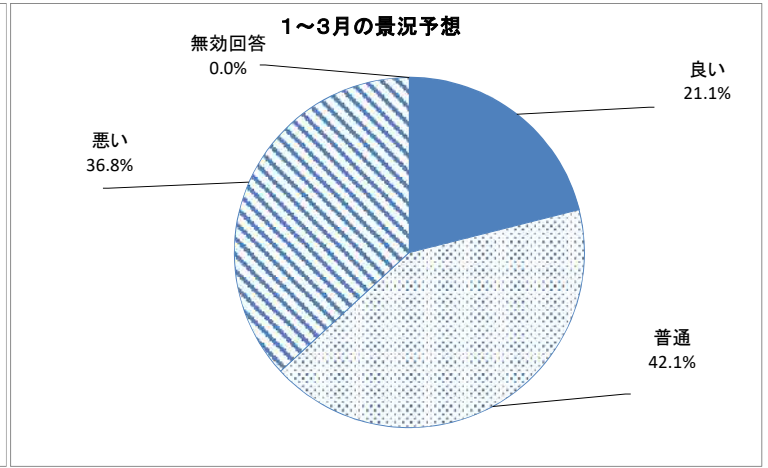


令和3年10月～12月 あら坊の景気ウオッチング [製造業]

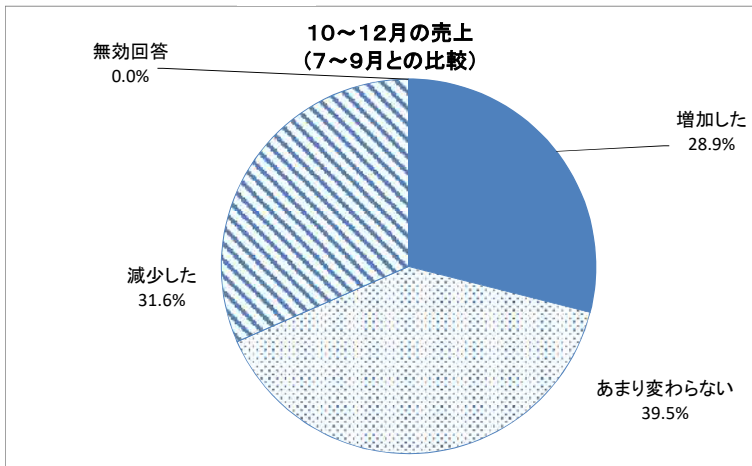
有効回答38事業所



DI ▲ 18.4 = 21.1(良い) - 39.5(悪い)

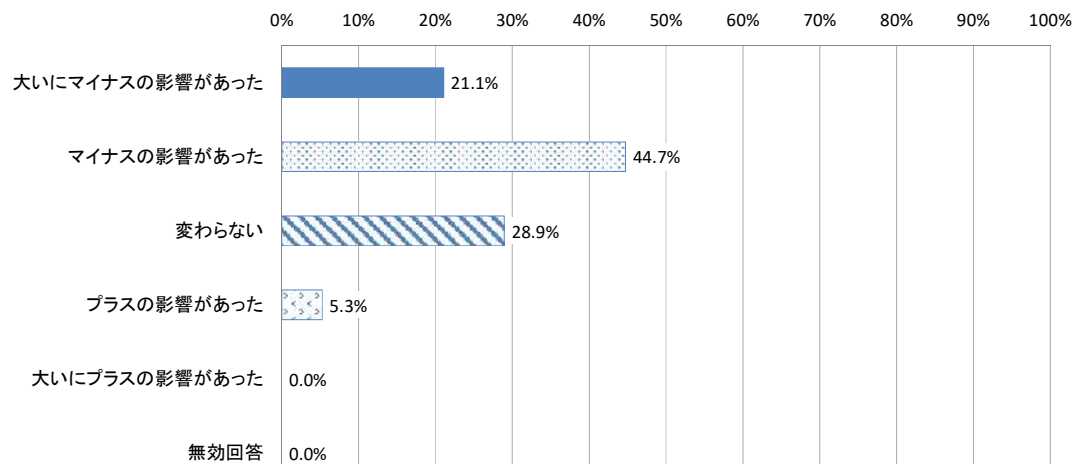


DI ▲ 15.8 = 21.1(良い) - 36.8(悪い)



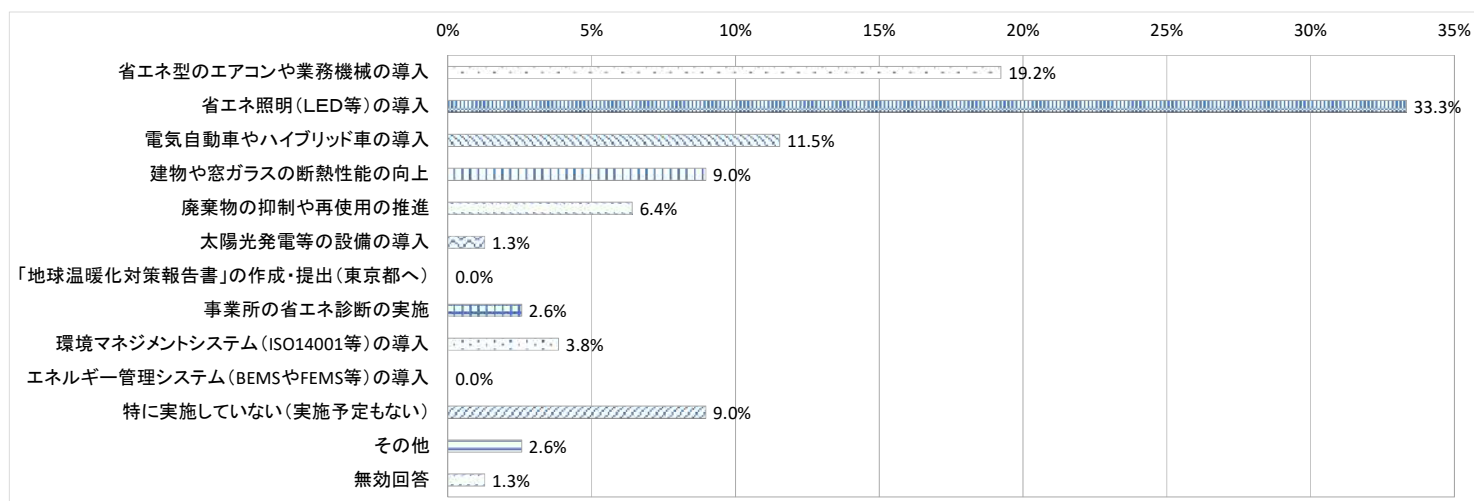
新型コロナウイルス感染症による経営・事業活動への影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営・事業活動へ影響を与えましたか(番号一つに○)

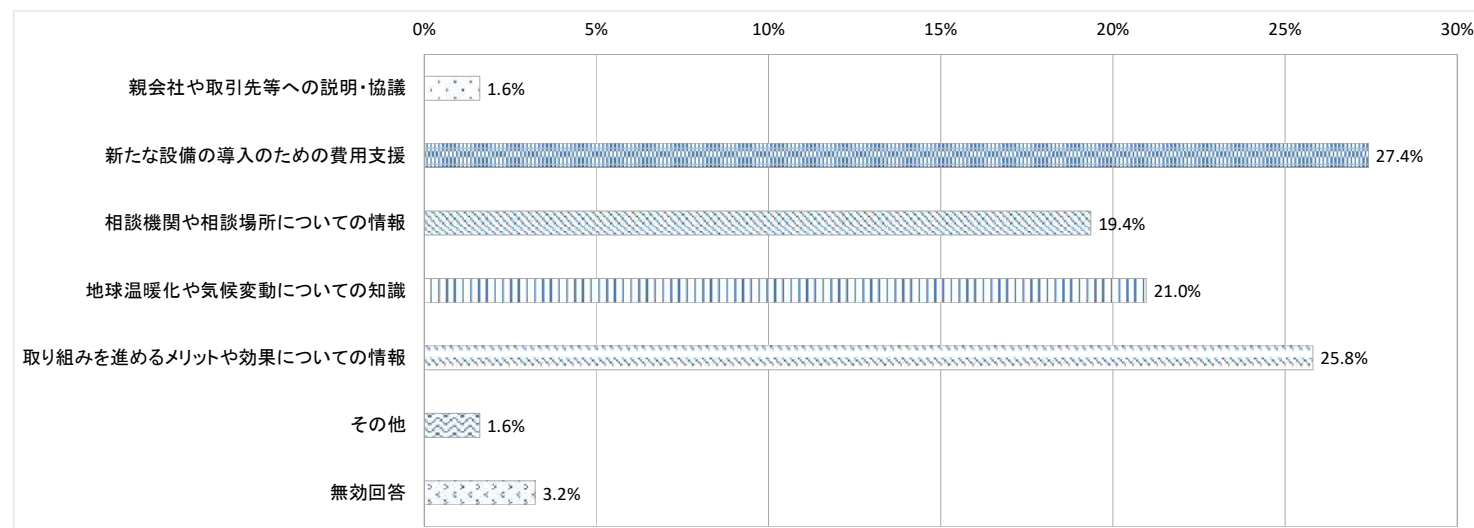


「脱炭素化」の取り組みについて

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または「今後、実施を予定しているもの」を教えてください。(番号に○、複数選択可)

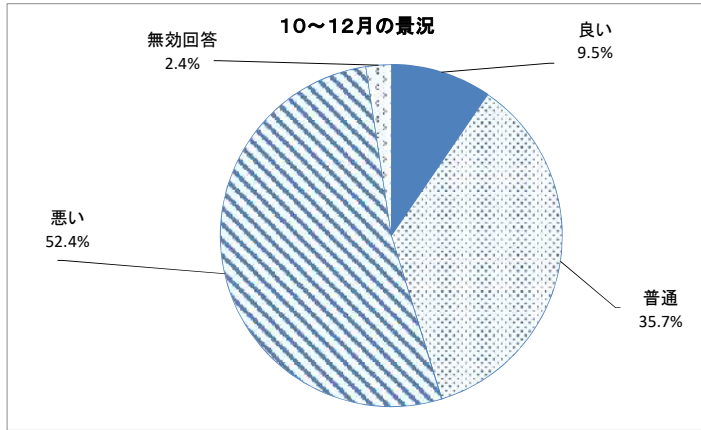


脱炭素化の取り組みを「今は取り組んでいないが、今後実施するため」、または「今の取り組みを更に進めるため」には、どのようなことが必要か、貴社に当てはまるものを教えてください。(番号に○、複数選択可)

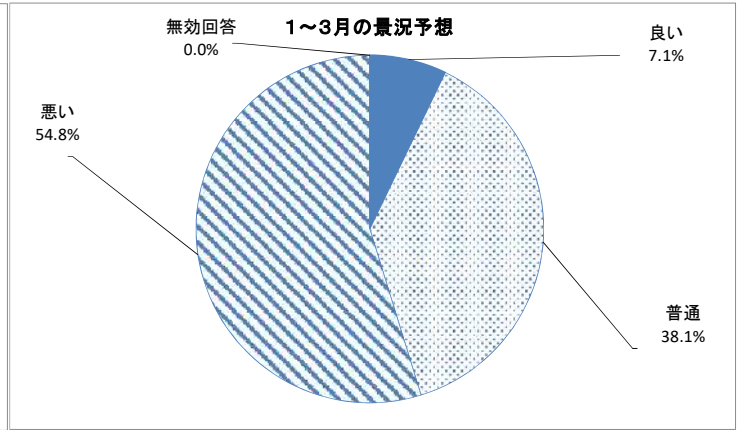


令和3年10月～12月 あら坊の景気ウオッチング [卸売業]

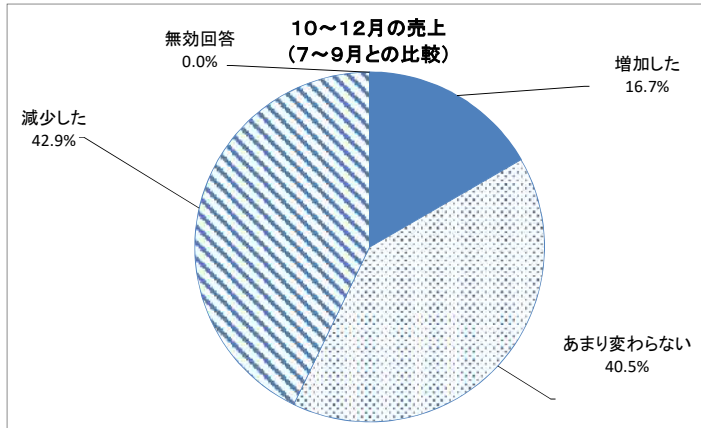
有効回答42事業所



DI ▲ 42.9 = 9.5(良い) - 52.4(悪い)

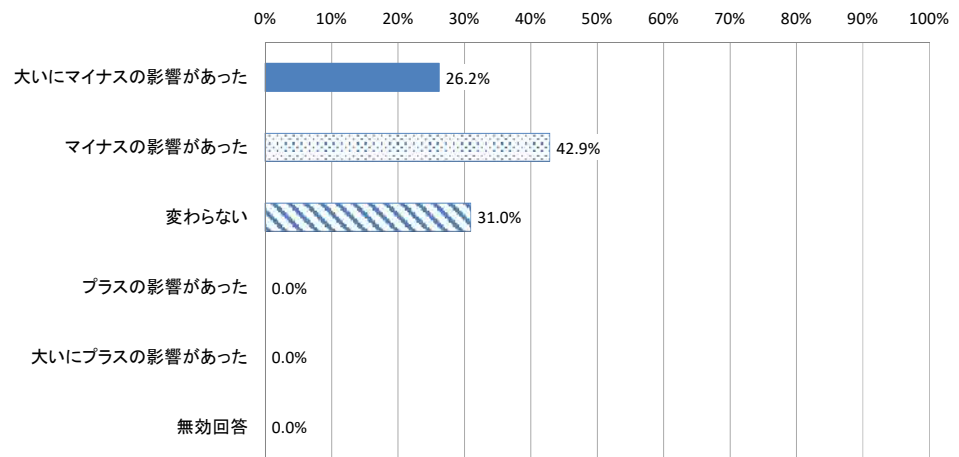


DI ▲ 47.6 = 7.1(良い) - 54.8(悪い)



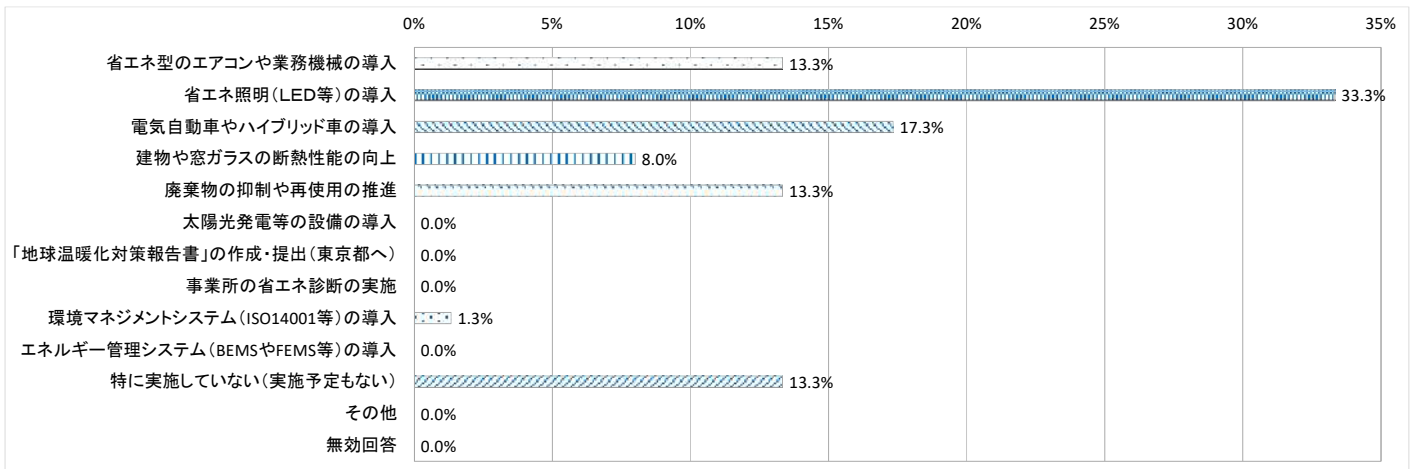
新型コロナウイルス感染症による経営・事業活動への影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営・事業活動へ影響を与えましたか(番号一つに○)

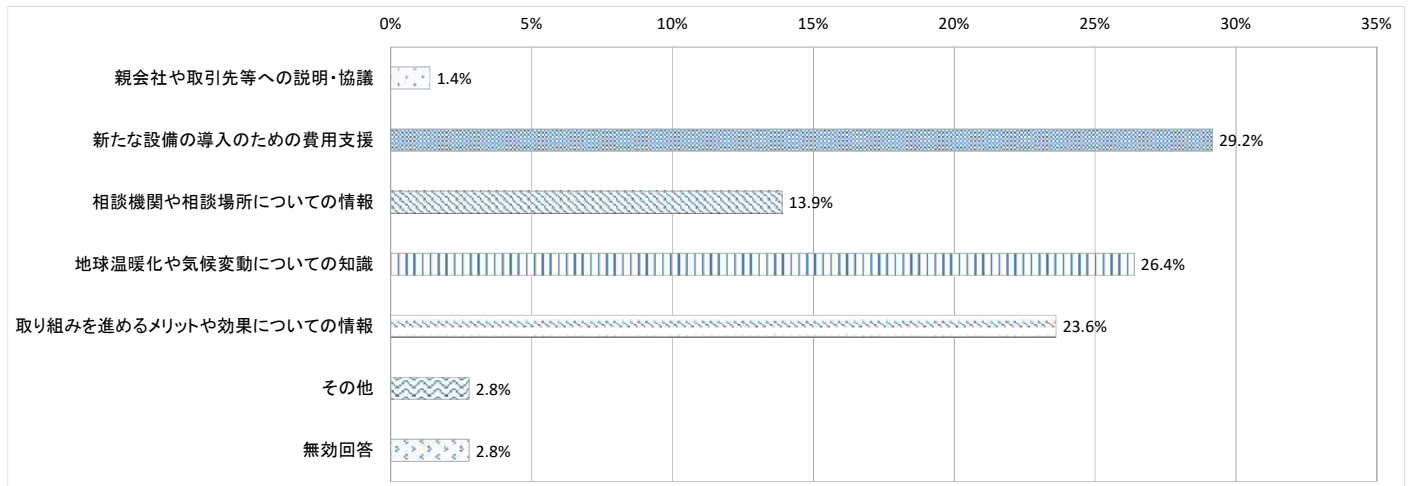


「脱炭素化」の取り組みについて

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または「今後、実施を予定しているもの」を教えてください。(番号に○、複数選択可)

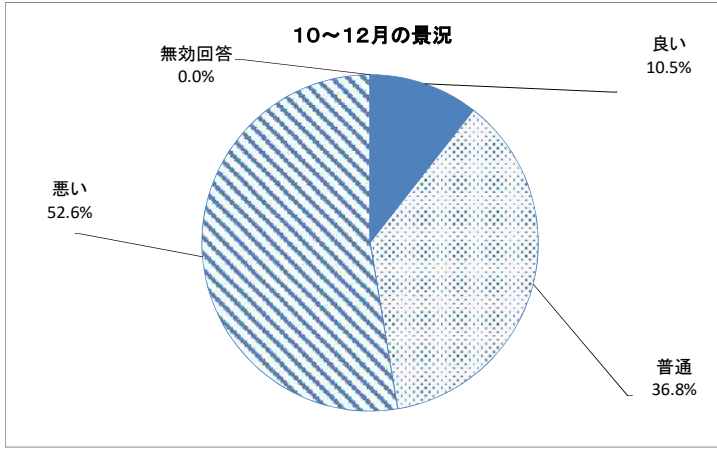


脱炭素化の取り組みを「今は取り組んでいないが、今後実施するため」、または「今の取り組みを更に進めるため」には、どのようなことが必要か、貴社に当てはまるものを教えてください。(番号に○、複数選択可)

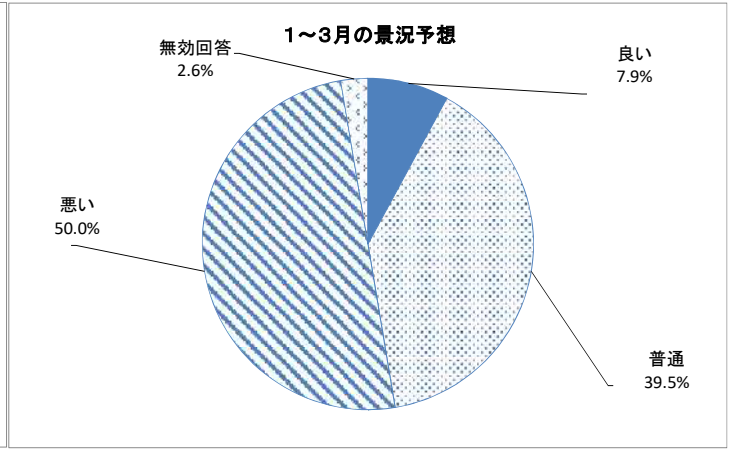


令和3年10月～12月 あら坊の景気ウオッチング [小売業]

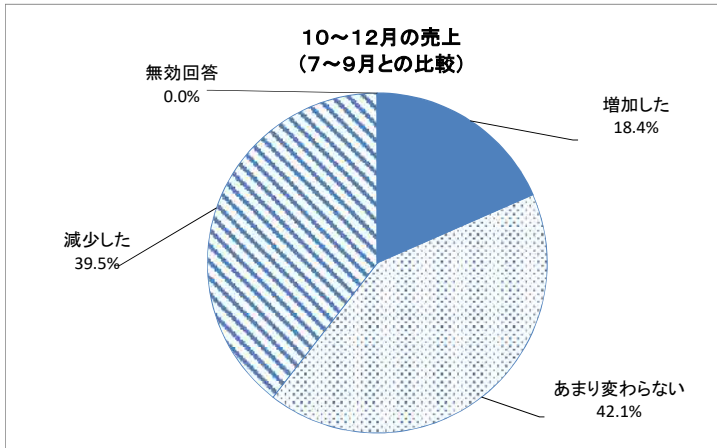
有効回答38事業所



DI ▲ 42.1 = 10.5(良い) - 52.6(悪い)

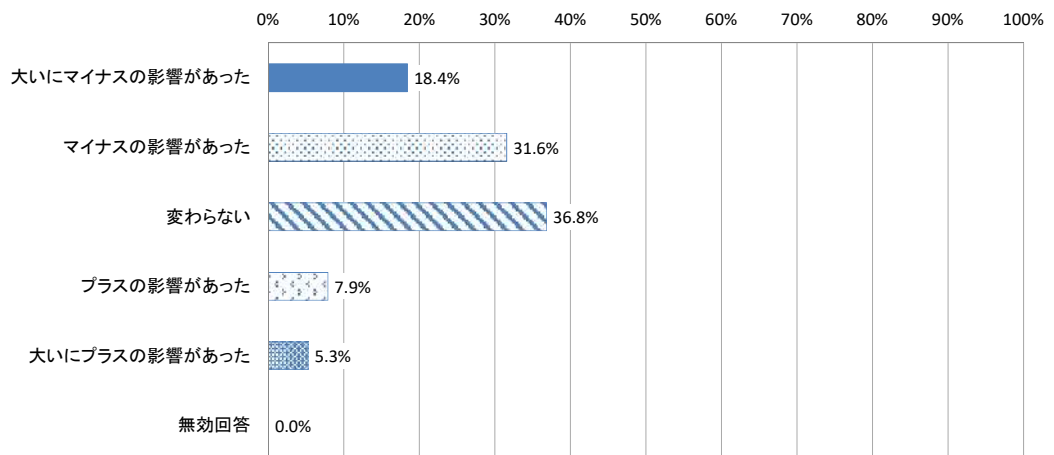


DI ▲ 42.1 = 7.9(良い) - 50(悪い)



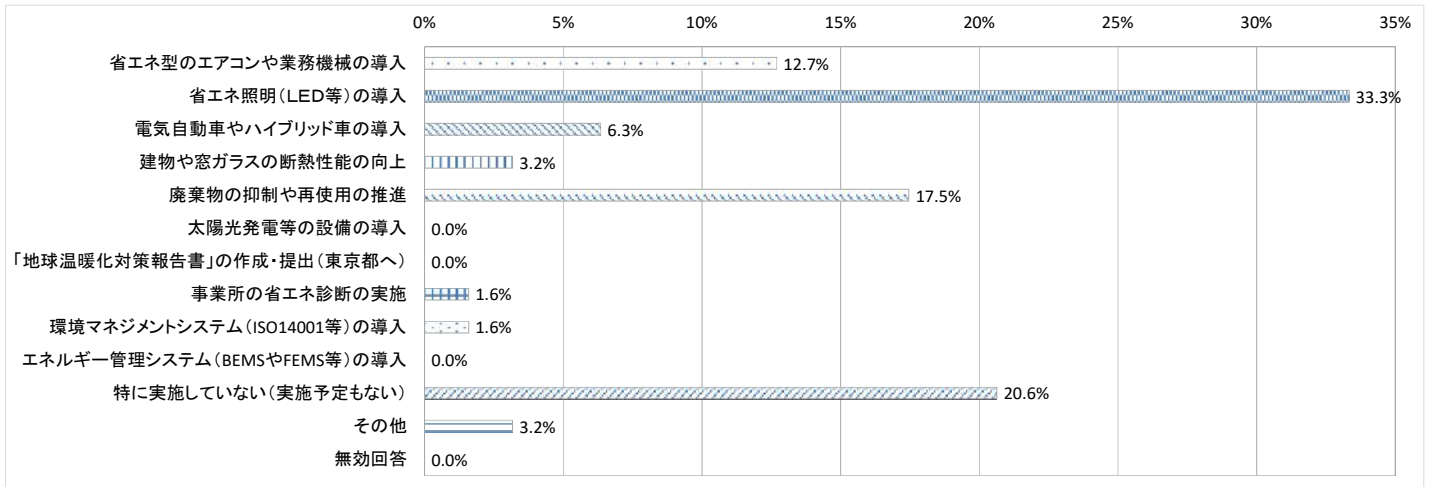
新型コロナウイルス感染症による経営・事業活動への影響について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、貴社の10月～12月の経営・事業活動へ影響を与えましたか(番号一つに○)

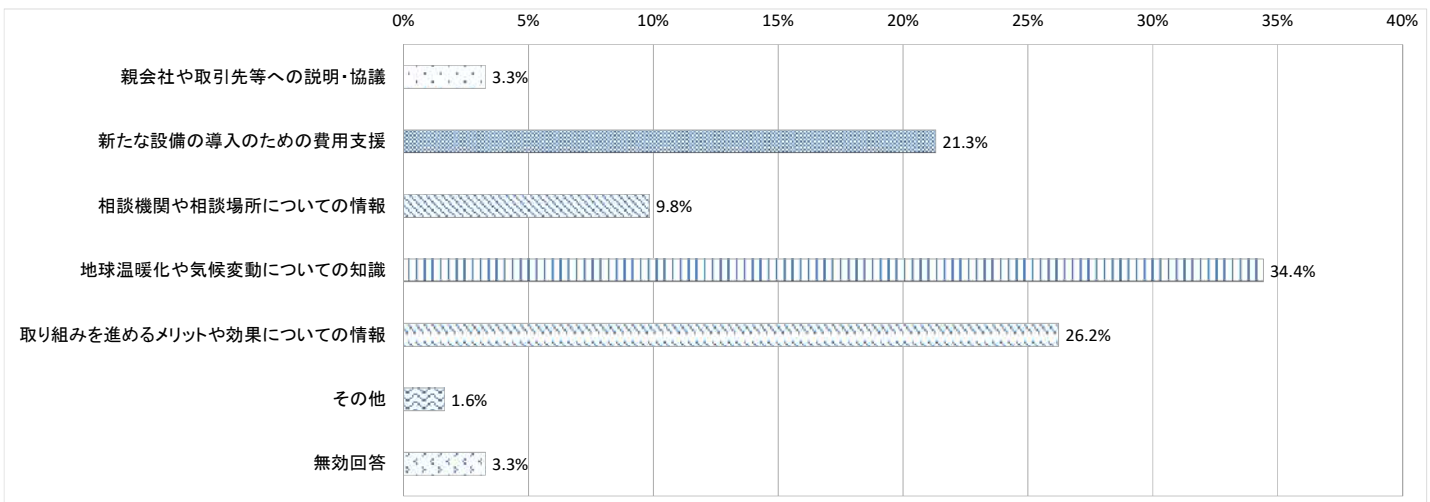


「脱炭素化」の取り組みについて

温室効果ガス(二酸化炭素)の削減にむけた脱炭素化の取り組みとして、貴社が「すでに実施しているもの」、または「今後、実施を予定しているもの」を教えてください。(番号に○、複数選択可)

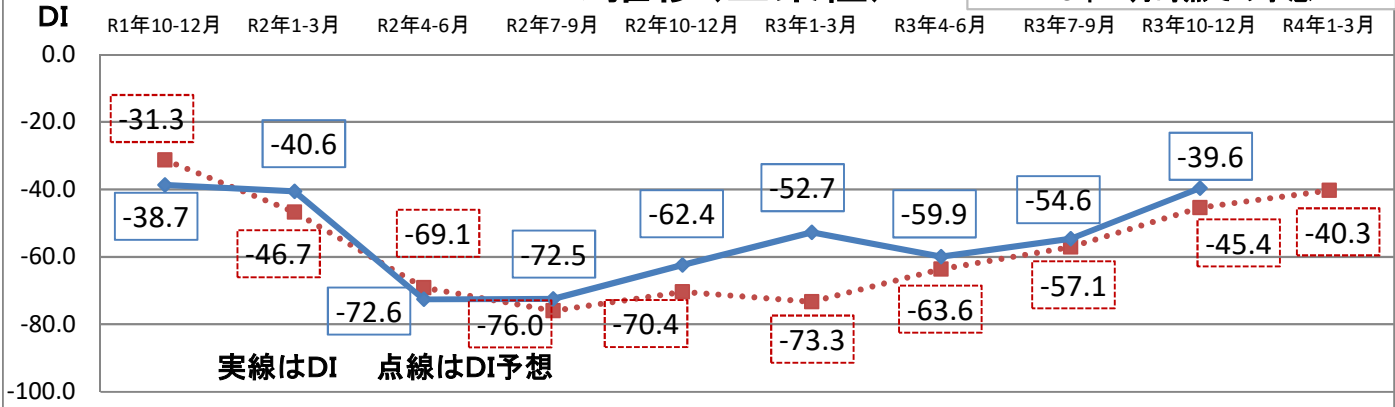


脱炭素化の取り組みを「今は取り組んでいないが、今後実施するため」、または「今の取り組みを更に進めるため」には、どのようなことが必要か、貴社に当てはまるものを教えてください。(番号に○、複数選択可)

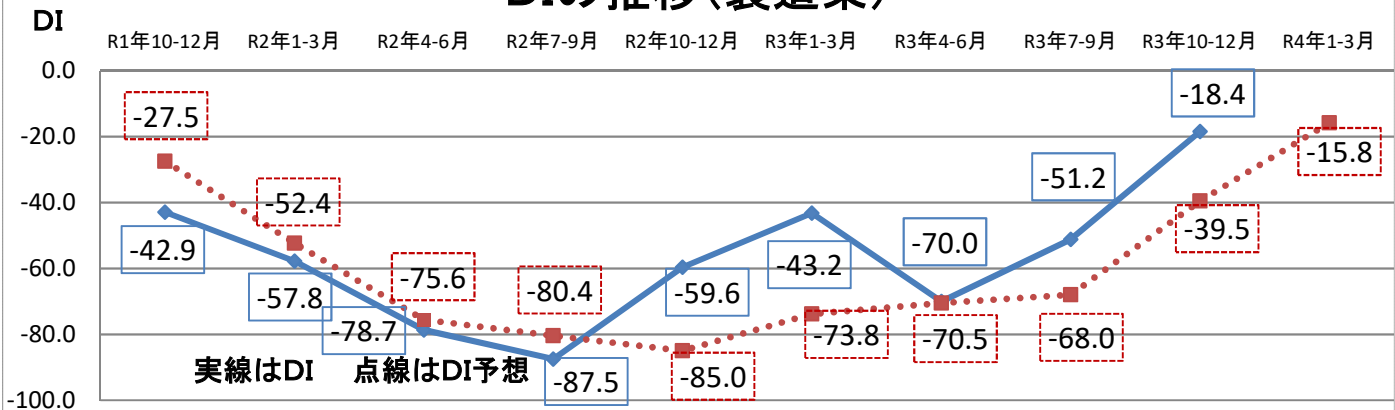


DIの推移(全業種)

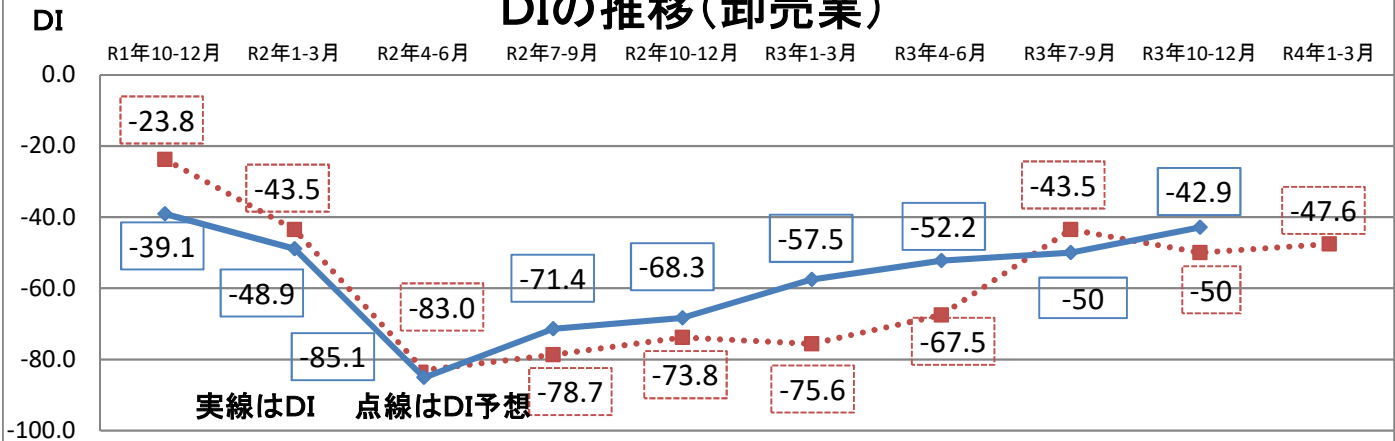
(例)DI予想のR4年1~3月は、
R3年12月時点での予想



DIの推移(製造業)



DIの推移(卸売業)



DIの推移(小売業)

